どんぐりの森通信　第29号　2016年4月

日に日に明るくなる日差しと共に、あちこちから春の訪れを知らせる便りが届く季節になりました。平岡では「春告げ鳥」アオサギが古巣のイオンの森に戻り始め、水辺では早くもエゾアカガエルの産卵が始まりました。雪解けの早かった今年、春本番はすぐそこまで来ていますね。

『**平岡どんぐりの森**』は札幌市の平岡公園・東部緑地周辺をフィールドにして、自然観察会や生きもの調査など地域の自然に親しむ活動をしているグループです。身近に残っている豊かな自然を楽しみながら、地域の自然環境を見守る目を増やしていきたいと活動を続けています。

平岡公園では、親子の自然観察会「**ながぐつの土曜日**」や、樹木を中心にした大人の観察会「**平岡公園ツリーウオッチング**」を毎月開催するほか、公園管理事務所や大学生のグループと協力して夏休み・冬休みの「平岡公園にぎわいフェスタ」で自然を楽しむプログラムを担当しています。

会報「どんぐりの森通信」第29号では、2015～16年冬の活動報告と新年度の活動予定をお知らせします。

◆◆ 冬の活動日誌から ◆◆

冬の平岡公園にぎわいフェスタ　1月16日(土)　（参加者　70名）

空はよく晴れていますが、寒い！管理事務所横の広場に造られた雪山滑り台も、ちょうど良い硬さに凍っています。前日から職員さんと学生ボランティアの皆さんが汗を流して完成させました。早くから集まった子供たちはさっそくチューブで初滑り、スピードに乗って歓声が上がっていました。

スコップとバケツを使って雪を固めて、スノーキャンドルをいくつも作りました。雪の台に並べてから、大人も子供もスノーシューをはいて森の探検に出発です。**プラタナス**の並木を抜けてサクサクと快調に進んで、森の中にも入ってみました。夏には茂みが深くて歩けない場所ですが、積雪期の今なら動物の足跡や木々の冬芽をじっくり観察できます。**キタコブシ**の木には銀色の毛に包まれた花芽がたくさん付いていて、開花が楽しみです。風で落ちた**ツルアジサイ**の花や**カラマツ**の松ぼっくりが並んで付いた小枝も拾いました。天然のドライフラワーだね！

管理事務所に戻ると暖かいお茶とおいしいお汁粉で一息ついて、元気回復！スノーキャンドルに灯をともす夕暮れまで、そり滑りや雪遊びで楽しみました。

ながぐつの土曜日　2月20日(土)　雪の森たんけんたい　（参加者　26名）

初めてのスノーシューでおっかなびっくりの子供たちも、すぐにコツを覚えて雪の中で追いかけごっこを始めました。高い木の梢に、びっくりするほど大きな**スズメバチ**の巣を発見！今年の夏に使ったものでしょう。冬はもう居ないから、大丈夫。**スズメバチ**が盛んに出入りする季節には、茂った葉に隠れて見えなかったのですね。息を切らして山の斜面を登ってみると、**シラカバ**の幹にセミの抜け殻が一列に並んでいたり、**クマゲラ**の新しい食痕を見つけたり、ちょっと疲れたけれど面白い発見が色々あった森歩きでした。